

# 町田市民病院第4次中期経営計画（2022年度～2026年度）の進捗状況について（2022年度上半期）

2022年12月14日  
行政報告資料  
町田市民病院事務部経営企画室

## 1. 良質な医療の提供 ～持続可能な医療提供体制を提供していきます～

項目及び中期経営計画の目標値	事業計画目標	事業計画目標に対する結果	主な取組内容	2022年度(上半期)の実績
(1) 患者満足度の向上 【2023年度】 ・入院患者満足度 92.0% ・外来患者満足度 90.0%	・入院患者満足度 91.0% ・外来患者満足度 89.0%	・調査実施中	・入院患者満足度の向上 ・外来患者満足度の向上	・患者満足度調査を9月から10月にかけて実施しています。今年度から患者満足度調査を外部委託し、他医療機関とのサービス比較ができるベンチマーク形式に変更しました。 ・院内のWi-Fiエリアの拡大を図り、外来や一部の病棟での限定的な使用から、院内全体で使用できるように整備しました。
(2) 情報提供の充実 【2026年度】 ・病院ホームページへのクリニカルパス掲載数 70件 【2022年度】 ・病院ホームページへの新規動画コンテンツ掲載数 6件/年	・クリニカルパスHP掲載数 52件 ・新規動画コンテンツHP掲載数 6件/年	・48件 ・5件/半年	・ホームページへのクリニカルパス掲載 ・ホームページへの動画コンテンツ掲載	・病院ホームページへの掲載方法も含め検討中です。 ・新規動画コンテンツとして、Web上で開催した市民公開講座の動画4本(呼吸器内科、放射線科、整形外科、消化器内科)に加えて、「町田市民病院 第4次中期経営計画(2022年度～2026年度)」の紹介動画をホームページ上で公開しました。
(3) 医療連携の推進 【2022年度】 ・紹介率 77.0% ・逆紹介率 65.0% ・地域医療従事者向け研修回数 21回/年 ・医師による連携医療機関の訪問 30件/年 【2026年度】 ・紹介件数 18,000件/年	・紹介率 77.0% ・逆紹介率 65.0% ・地域医療従事者向け研修 21回/年 ・医師による連携医療機関の訪問 30件/年 ・紹介件数 16,400件/年	・75.5% ・61.4% ・5回/半年 ・0件/半年 ・7,955件/半年	・地域医療支援病院としての機能強化 ・地域医療従事者向け研修の実施 ・連携医療機関との連携強化	・紹介率は75.5%となり、2021年度上半期実績(72.3%)と比べ3.2ポイント増加しました。紹介件数は7,955件/半年となり、2021年度上半期実績(7,000件/半年)と比べ955件(13.6%)増加しました。新型コロナウイルスの感染拡大もあり目標値を1.5ポイント下回りましたが、紹介制限を行うことなく患者受入を行いました。 ・逆紹介率は61.4%となり、2021年度上半期実績(61.4%)と同水準となりました。地域医療支援病院基準は達成できませんでしたが、保健所経由で紹介なしの発熱患者が増えたことによる、初診患者数の増加により、目標値を3.6ポイント下回りました。 ・地域医療従事者を対象とした研修会5回(認定看護師によるスキンケア・糖尿病・ストーマケア・災害看護、医師による小児科症例検討会)を実施しました。 ・新型コロナウイルス感染拡大により、医師による連携医療機関の訪問は実施できませんでしたが、地域の訪問診療機関と医師も含めたオンライン交流会を開催しました。
(4) 入退院支援の充実 【2026年度】 ・入退院支援件数 2,500件/年	・入退院支援件数 2,420件/年	・1,097件/半年	・入退院支援の実施	・入退院支援件数は1,097件/半年となり、2021年度上半期実績(1,075件/半年)と比べ22件(2.0%)増加しました。多職種で連携することで、入退院支援が必要な患者に対して、退院後の療養環境や介護サービスなど、個々の状況に応じて患者に寄り添った支援をしています。また、面会制限のある中、オンライン面会体制を整えることで、患者や家族が安心して転院や退院を行えるよう支援しています。
(5) 病院機能評価の更新 【2022年度】 ・病院機能評価の更新	・病院機能評価の更新	・受審準備中	・病院機能評価の受審	病院機能評価とは、病院の運営や医療について、第三者機関である日本医療機能評価機構から評価を受ける仕組みです。当院では2017年度に認定を受け、2023年3月に認定期限を迎えます。11月に予定している受審に向けて、院内でのセルフ監査やコンサル業者による課題抽出を行い、課題の解決や質の向上を目指して改善に取り組んでいます。
(6) 医療安全・感染防止対策の推進 【2022年度】 ・医療安全・感染対策講習会受講率 100% ・医療安全管理者研修の受講医師数 1人/年	・医療安全講習会受講率 100% ・感染対策講習会受講率 100% ・医療安全管理者研修の受講医師数 1人/年	・100% ・100% ・0人	・医療安全・感染対策などの研修の必修化 ・更なる医療安全文化の醸成	・前年度に引き続き、今年度も新型コロナ対策のため動画視聴を中心に実施しました。前期受講率は医療安全講習会、感染対策講習会ともに100%となりました。 ・医療安全管理者研修は下半期に医師1名受講予定です。
(7) 病院職員の安定確保 【2026年度】 ・(常勤職員数) 医師 93人 看護師等 410人 医療技術 115人 事務 41人 計 659人	・常勤職員数 654人 ・臨床研修指導医数 26人	・624人 ・25人	・常勤職員の安定確保 ・研修医師の指導体制の充実	・現在、常勤職員について、施設基準を満たす人員を確保しています。事務部においては、病院事務の専門的な知識を有する医事事務1名、医療ソーシャルワーカー1名を採用しました。看護職の安定的な確保及び離職防止を図るために、看護師への処遇改善(賞金アップ)を行いました。なお、育休及び休職等で職員が不足する際は、会計年度任用職員を採用し、病院運営に支障をきたさないよう努めています。 ・臨床研修指導医は25名が在籍しており、今年度は1名が指導医講習を受講し、26名となる予定です。 <2022年9月1日時点> 医師 87人 看護師等 387人 医療技術 109人 事務 41人(うち病院専任 16人) 計 624人 ※育休及び休職者は含まず

# 町田市民病院第4次中期経営計画（2022年度～2026年度）の進捗状況について（2022年度上半期）

## 2. 5疾病5事業の医療提供体制確保と充実 ～地域の医療提供体制を支えます～

項目及び中期経営計画の目標値	事業計画目標	事業計画目標に対する結果	主な取組内容	2022年度(上半期)の実績
(1) がん 【2025年度】 ・悪性腫瘍手術件数 860件/年 (内視鏡的切除術を含む) 【2023年度】 ・外来化学療法件数 190件/月 (抗悪性腫瘍剤のみ)	・悪性腫瘍手術件数 799件/年 (内視鏡的切除術を含む) ・外来化学療法件数 179件/月 (抗悪性腫瘍剤のみ) ・内視鏡手術支援ロボットの導入	・334件/半年 ・154件/月 ・準備中	・手術療法の充実 ・ベッドの効率的な運用 ・低侵襲手術の推進	・悪性腫瘍手術件数については、334件/半年となり、2021年度上半期実績(323件/半年)と比べ11件(3.4%)増加しました。 ・外来化学療法件数は154件/月となり、2021年度上半期実績(167件/月)と比べ13件/月(7.8%)減少しました。 ・内視鏡手術支援ロボットの導入に向けて施設改修を実施しており、11月中の完了を予定しています。なお、下半期については、2月に初症例の手術が行えるよう、医師、看護師及び臨床工学技士に対して院内外におけるトレーニング及びチームでの他施設の見学を行う予定です。
(2) 脳卒中 【2023年度】 ・脳神経外科・脳神経内科 新入院患者数 870人/年	・脳神経外科・脳神経内科 新入院患者数823人/年 ・MRIの夜間・休日稼働一部実施	・300人/半年 ・準備中	・脳卒中患者の積極的な受入 ・夜間・休日体制の充実	・2021年度と比べて脳神経内科医が1名減となったこともあり、新入院患者数は300人/半年となり、2021年度上半期実績(363人/半年)を63人(17.4%)下回りました。 ・今年度中の夜間・休日MRIの実施に向けて、放射線技師の体制の構築を進めています。
(3) 心疾患 【2024年度】 ・循環器(MDC05)入院患者数 820人/年	・循環器(MDC05)入院患者数 777人/年	・295人/半年	・心疾患患者の積極的な受入	・循環器(MDC05)入院患者数は295人/半年となり、2021年度上半期実績(389件/半年)と比べ94件(24.2%)減少しました。病棟での院内感染の発生により、病床の使用が制限されたことで、救急受入制限やICUの回転率低下が生じたため、それにより目標値及び前年度上半期実績を下回りました。
(4) 救急医療 【2023年度】 ・救急車による受入患者数 525人/月	・救急車による受入患者数 496人/月 ・HCUの開設	・365人/月 ・準備中	・救急隊との連携強化 ・高度急性期機能の充実	・救急車による受入患者数は365人/月となり、2021年度上半期実績(379人/月)と比べ14人/月(3.7%)減少しました。病棟での院内感染の発生による救急車の受入制限等により前年度実績を下回りましたが、医師を交えて町田市消防署との意見交換会を開催するなど救急隊との連携強化に努めました。 ・2022年度中の開設に向けて、仕様、届出、運用など関係部署と整理をし、準備を進めています。
(5) 災害医療 【2022年度】 ・連携訓練回数 1回/年	・連携訓練回数 1回/年	・未実施	・災害時を想定した医療機関等との連携推進	・南多摩保健医療圏災害拠点病院間における通信訓練を2023年2月頃に実施します。防災FAXや災害時掲示板、広域災害救急医療システムEMISを利用した通信訓練を実施します。 ・町田市民病院総合防災訓練を2023年1月27日(金)に実施します。現在策定中の事業継続計画(BCP)に基づき、訓練(情報伝達、職員参集システムなど)を実施します。
(6) 小児医療 【2023年度】 ・小児科入院患者数 10人/日	・小児科入院患者数 9人/日	・6人/日	・小児入院体制の維持	・小児科入院患者数は6人/日(新生児内科除く)となりました。2021年度上半期はRSウイルスの流行などにより、入院需要が増加していたため、2021年度上半期実績(7人/日)と比べ1人/日(14.3%)減少しました。5月に小児内分泌外来を開始し、診療の質の向上及び患者数の増加に努めました。
(7) 周産期医療 【2023年度】 ・母体搬送件数 95件/年 ・NICU・後方支援病床(GCU) 新入院患者数 150人/年	・母体搬送件数 84件/年 ・NICU・後方支援病床(GCU)新入院患者数 148人/年	・31件/半年 ・86人/半年	・ハイリスク妊産婦の積極的な受入 ・新生児受入体制の維持	・母体搬送件数は31件/半年となり、2021年度上半期実績(37件/半年)と比べ6件(16.2%)減少しました。南多摩保健医療圏で唯一の地域周産期母子医療センターとして、今後も積極的な受け入れを行っていきます。 ・NICU・後方支援病床(GCU)新入院患者数は86人/半年となり、2021年度上半期実績(94人/半年)と比べ8人(8.5%)減少しました。

# 町田市民病院第4次中期経営計画（2022年度～2026年度）の進捗状況について（2022年度上半期）

## 3. 健全経営の推進 ～収益の向上と費用の適正化を図ります～

項目及び中期経営計画の目標値	事業計画目標	事業計画目標に対する結果	主な取組内容	2022年度(上半期)の実績
(1) 病床の安定的稼働 【2026年度】 ・病床利用率 85.0% ・新規入院患者数 1,000人/月	・病床利用率 81.0% ・新規入院患者数 904人/月	・66.5% (コロナ関連病床除いた場合83.2%) ・797人/月	・稼働率の低い病床の活用方法の検討	・前年度に引き続き、東京都からの新型コロナの専用病床確保要請に応じつつ、二次救急医療との両立に努めました。新型コロナ感染拡大に伴う病床利用制限等により、病床利用率は66.5%となり、2021年度上半期実績(71.5%)と比べ5.0ポイント減少しました。新規入院患者数は797人/月となり、2021年度上半期実績(830人/月)と比べ33人/月(4.0%)減少しました。ポストコロナを見据え、HCU開設など急性期病院としての機能強化に取り組むことで、自立した病院運営を目指します。
(2) 診療単価の上昇 【2023年度】 ・入院単価 65,000円 【2026年度】 ・外来単価 13,000円	・入院単価 64,400円 ・急性期充実体制加算の取得 ・外来単価 12,600円	・69,671円 ・調整中 ・12,406円	・新規施設基準の取得 ・慢性期患者の逆紹介の推進	・入院単価は69,671円となり、2021年度上半期実績(68,346円)と比べ1,325円(1.9%)増加しました。2022年度診療報酬改定に伴い、感染対策向上加算1・指導強化加算などの施設基準を取得したことにより入院単価の上昇に繋がりました。 ・急性期充実体制加算の取得に向けて、緊急手術(全身麻酔)の件数を安定的に確保していく必要があるため、そのための体制について検討を行っています。 ・外来単価は12,406円となり、2021年度上半期実績(12,921円)と比べ515円(4.0%)減少しました。
(3) 医業費用の適正化 【2023年度】 ・給与費比率 61.0% ・薬品費比率 12.1% 【2024年度】 ・診療材料費比率 8.8%	・給与費比率 61.2% ・薬品費比率 12.2% ・診療材料費比率 9.1% ・後発医薬品使用割合 90.0%	・ - ・12.5% ・8.7% ・89.7%	・適正な人員配置と定数管理 ・薬品費の削減 ・ベンチマークを活用した診療材料費の削減	・薬品費比率は12.5%となり、2021年度上半期実績(12.1%)と比べ0.4ポイント増加しました。目標値は下回りましたが、薬品の購入にあたり競争見積及び価格交渉を実施した結果、薬品費の値引率は15.2%で全国平均(約13%)を2.2ポイント上回りました。 ・診療材料費比率は8.7%となり、2021年度上半期実績(9.3%)と比べ0.6ポイント減少しました。コロナ禍による欠品や原材料費及び輸送費、燃料費等の高騰による値上げが相次ぎ価格交渉が難しい中、より安価な製品への切替に積極的に取り組んだ結果、目標値から0.4ポイント低くすることができました。 ・後発医薬品使用割合については、後発医薬品が海外からの資材納入の遅延により入手が困難となった影響等もあり、目標値を0.3ポイント下回りました。
(4) 効率的な手術室等の運用 【2025年度】 ・手術件数 13,800件/年 (うち手術室内 5,240件/年) (うち麻酔科管理 3,400件/年)	・手術件数 12,600件/年 (うち、手術室内 4,800件/年) (うち麻酔科管理 3,100件/年)	・手術件数 6,190件/半年 (うち、手術室内 2,226件/半年) (うち麻酔科管理 1,430件/半年)	・手術室、内視鏡室等の運営の効率化	・手術件数は6,190件/半年となり、2021年度上半期実績(6,085件/半年)と比べ105件(1.7%)増加しました。手術待ちの患者の減少及び手術件数の増加を目的として、手術室の実施状況を分析し、手術枠を効果的且つ効率的に運用できるよう改善しました。

町田市民病院第4次中期経営計画（2022年度～2026年度）の進捗状況について（2022年度上半期）

4. 人材育成と働き方改革の推進 ～育成体制を構築し、働き方改革に取り組みます～

項目及び中期経営計画の目標値	事業計画目標	事業計画目標に対する結果	主な取組内容	2022年度(上半期)の実績
(1) 職員満足度の向上 【2024年度】 ・職員満足度 45.0%	・職員満足度 42.4%	・未実施	・職員満足度調査の実施	・柔軟で多様な働き方やワークライフバランスの実現を図るため、8月から時差勤務を導入しました。 ・調査の実施は11月下旬を予定しています。
(2) 働き方改革への取組 【2024年度】 ・5日以上有休休暇取得率(医師) 100% ・時間外労働月45時間以上の医師数 0人	・5日以上有休休暇取得率(医師) 97.0% ・時間外労働月45時間以上の医師数 9人	・55.5% ・11人	・ワークライフバランスの実施 ・時間外勤務の削減	・職員の柔軟で多様な働き方やワークライフバランスの実現を図るため、8月から時差勤務を導入しました。 ・医師の働き方改革における医師労働時間短縮計画を策定しました。今後は2024年度に向け、三多摩の公立病院と情報共有を図るとともに、診療科毎の宿日直許可取得に向けた施策に取り組みます。